第８講　【中世編】　中世ヨーロッパ世界の変容
# PART2 商業の復活と都市の形成

## Chapter１　商業の復活と西欧各地の都市

目標　北ヨーロッパはどのような商業同盟を結び，主にどんな産物を扱ったのだろうか。
地中海商業圏で取り引きされたものを知ろう。

### 1　商業の復活と都市の発展

①商業の復活
４世紀以降　ゲルマン人の大移動後に続いた混乱により，西ヨーロッパの商業は衰退
11 世紀から　気候の温暖化にともなって農業生産力が向上，余剰生産物が取り引きされるようになる
A　余剰生産物の取り引きのために各地で〔　　　　　　〕が開かれ，交易の拠点として新しい都市に発展
B　商業活動の交換手段として〔　　　　　　〕が広がった

②都市の発展
A　大量の人と物資が移動する十字軍運動を契機として，**遠隔地貿易**が発展
B　イタリアの港市，内陸の商業都市が発達

### 2　北ヨーロッパ商業圏

①**リューベック**，**ハンブルク**，ブレーメンなど（北ドイツ）
A　海産物・木材・毛皮・穀物などの生活必需品を主力として繁栄
B　12 世紀頃，〔　　　　　　〕を盟主に〔　　　　　　〕を結成
　→広域の都市が加盟，ヨーロッパ主要都市に在外商館を設置

②〔　　　　　　〕やガンなどの〔　　　　　　〕(現ベルギー北部)
**毛織物産業**で発展

## 3 地中海商業圏

①〔　　　　　　　　　〕,〔　　　　　　　　　〕, ピサなどの**北イタリアの港市**

A　ムスリム商人を介した〔　　　　　　　　　　　　　　〕

B　**香辛料**, 絹織物, 陶磁器, 宝石などの奢侈品を輸入

C　南ドイツの銀などを輸出

②〔　　　　　　　　　〕

A　毛織物産業と金融業で栄えた

B　15 世紀になると**メディチ家**が独裁権を握った

③〔　　　　　〕

A　毛織物産業や中継貿易などで栄えた

B　〔　　　　　　　　　　　　　〕の盟主として, 神聖ローマ帝国のイタリア政策に対抗

④〔　　　　　　　　　　　〕(ドイツ南部)

A　南北商業圏の交易地として, また東方貿易に使われた銀の産出地として栄えた

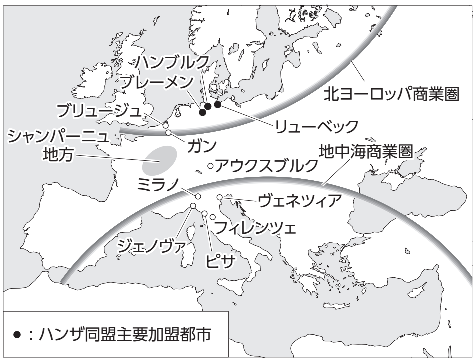
B　15 世紀末におこった**フッガー家**が銀鉱山を支配

アウクスブルクの街並み

⑤〔　　　　　　　　　　　　　　　〕(フランス東北部)

A　南北商業圏の中間に位置

B　北ヨーロッパと地中海の産物を交換する, 大規模な定期市の開催地




北ヨーロッパ商業圏と地中海商業圏の都市

**まとめ**

北ヨーロッパはハンザ同盟を結び, フランドル地方の毛織物が主に取り引きされた。

ムスリム商人からの香辛料や南ドイツの銀などが取り引きされた。

# Chapter２　都市の形成とその特徴

目標　ドイツの自由都市は，どのようにして形成されたのだろうか。
都市で市政を行ったギルドの特徴を理解しよう。

## 1　都市の自立

11～12 世紀になると，中世都市は封建領主による保護と支配からの自由と自治を求めはじめた。

①都市の発達

領主から闘争や買収により〔　　　　　　　〕を得て**自治権**を獲得

②神聖ローマ帝国と都市の結託

A　ドイツの有力都市は諸侯の支配から自立するため，神聖ローマ帝国と結託

B　皇帝から特許状を得て，神聖ローマ帝国直属の**自由都市**（帝国都市）に

→領邦と同じ地位となった

③自由都市への発展

自治が認められた都市は自由都市として発展し，農奴であっても一定期間都市に移り住めば自由民になり，次の時代の新しい市民階級を形成した（**「都市の空気は自由にする」**）

## 2　ギルドの成立

①〔　　　　　　〕

A　自治都市では同業組合で，行政の基礎的な組織となった

B　商品価格や品質を規定し，事業への新規参入を防ぐ排他的な組織

②〔　　　　　　　　　　〕

A　大商人などの特権層が相互扶助と市場の独占を目的として結成

B　初期に市政を独占

③〔　　　　　　　　　　〕

A　都市経済の発展から勢力を拡大した手工業者が職業別に結成

B　抗争により市政参加権を獲得（**ツンフト闘争**）

C　正規組合員である**親方**が，傘下の職人・徒弟に対して絶対的権力を持つ徒弟制度で成り立っていた

## 3 イタリアの都市共和国，イギリスやフランスの都市

①［　　　　　　　　　　　］（都市共和国）

A　貴族や大商人が主導

B　北イタリアのヴェネツィアやジェノヴァ，フィレンツェなどの**自治都市**

→周辺地域も併合して都市国家に成長

②イギリスやフランスの諸都市

国王と強く結びついていたので，国の行政の中心地として発達

ヴェネツィアの街並み

## 4 都市のユダヤ人

①都市のユダヤ人

A　中世ヨーロッパではユダヤ人に土地所有の自由がなかった

→農民になれなかった

B　都市に住んで商業や金融業を営む者が多かった

→十字軍運動がはじまると，イスラーム教徒と同様の異教徒とみなされ迫害がはじまった

②**ゲットー**（強制隔離地区）

ドイツや東ヨーロッパの都市に設けられて，ユダヤ人への差別と迫害が長く続いた

まとめ

領邦内部で都市が台頭すると，神聖ローマ帝国の庇護により自由都市となり，領邦と同じ地位を得た。

ギルドは価格や品質を厳格に定めて，事業への新規参入を防いだ。

# 第 8 講　PART 2　確認問題

**1** 十字軍運動を契機として盛んになった遠距離間で行われる貿易を何というか。

① 遠距離貿易　② 地中海貿易
③ 遠隔地貿易　④ 自由貿易

**2** 12 世紀頃に，北ドイツのリューベックを盟主として結成された都市同盟はどれか。

① ハンザ同盟　② ペロポネソス同盟
③ ライン都市同盟　④ 六都市同盟

**3** ブリュージュやガンなど，毛織物産業で発展した現在のベルギー北部の地方を何というか。

① シャンパーニュ地方　② フランドル地方
③ ロンバルディア地方　④ トスカナ地方

**4** 東方貿易で栄えた港市ではない北イタリアの内陸都市はどこか。

① ヴェネツィア　② フィレンツェ
③ ジェノヴァ　④ ピサ

**5** 都市が自治権を獲得するために，領主から闘争や買収により得たものは何か。

① 免許証　② 権利証
③ 表彰状　④ 特許状

**6** 自治都市での行政の基礎的な組織となった同業組合を何というか。

① 労働組合　② 都市ハンザ
③ ギルド　④ ユニオン

**7** 手工業者が職業別に同職ギルドを結成して，市政参加権を獲得していった経緯を何というか。

① 叙任権闘争　② ツンフト闘争
③ コミューン運動　④ 市民革命

**8** 北イタリアで貴族や大商人の主導により成立し，都市国家に成長した自治都市を何というか。

① ポリス　② 植民市
③ 自由都市　④ コムーネ

# 第 8 講　PART 2　確認問題 解答

**1** 解答：③　大量の人と物資が移動する十字軍運動を契機として，遠距離間で行われる**遠隔地貿易**が発展した。

**2** 解答：①　**ハンザ同盟**は，12 世紀頃にリューベックを盟主として結成された都市同盟である。

**3** 解答：②　**フランドル地方**のブリュージュやガンなどの都市は，毛織物産業で発展した。

**4** 解答：②　**フィレンツェ**は毛織物産業と金融業で栄えた内陸都市である。

**5** 解答：④　11 ～ 12 世紀になると，都市は領主から闘争や買収により**特許状**を得て自治権を獲得した。

**6** 解答：③　自治都市では，同業組合である**ギルド**が行政の基礎的な組織となった。

**7** 解答：②　手工業者が職業別に同職ギルド（ツンフト）を結成して，市政参加権を獲得していった経緯を**ツンフト闘争**という。

**8** 解答：④　**コムーネ**は貴族や大商人が主導する北イタリアの自治都市で，都市国家に成長した。